

鮫浦湾ホヤ幼生調査報告（第9報）

実施主体 宮城県漁業協同組合谷川支所養殖組合
 協力機関 東北大学マリンサイエンス復興支援室
 宮城県東部地方振興事務所水産漁港部
 宮城県水産技術総合センター

◆ホヤ幼生の出現状況調査内容

日 時：1月13日 10:30～12:10（検鏡11:30～12:10）

天 候：晴れ

調査員：谷川支所養殖組合（阿部弘幸，米倉和久，伊藤敏行）

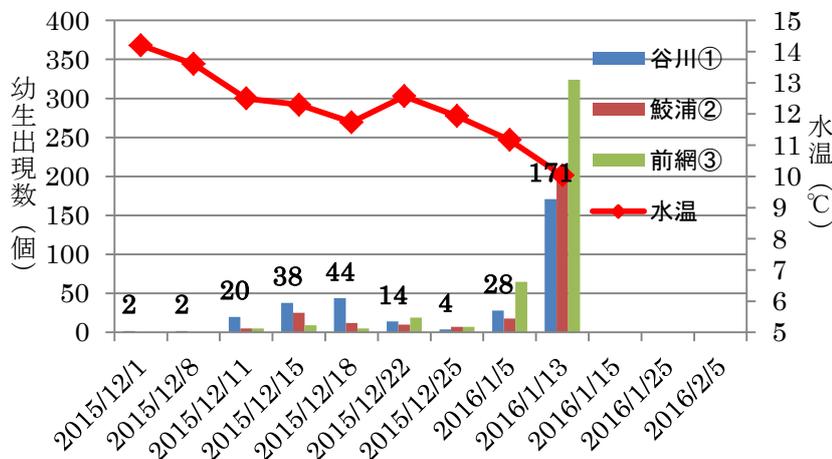
【概況】

1. 鮫浦湾の表面水温は9.8～10.4℃と前回より低下しました。
2. マホヤ幼生の出現状況は、幼生・胚合わせて171～324個と前回より増加しました。
3. 例年（H23～25）より水温の低下がやや遅れましたが、まとまった産卵が見られました。

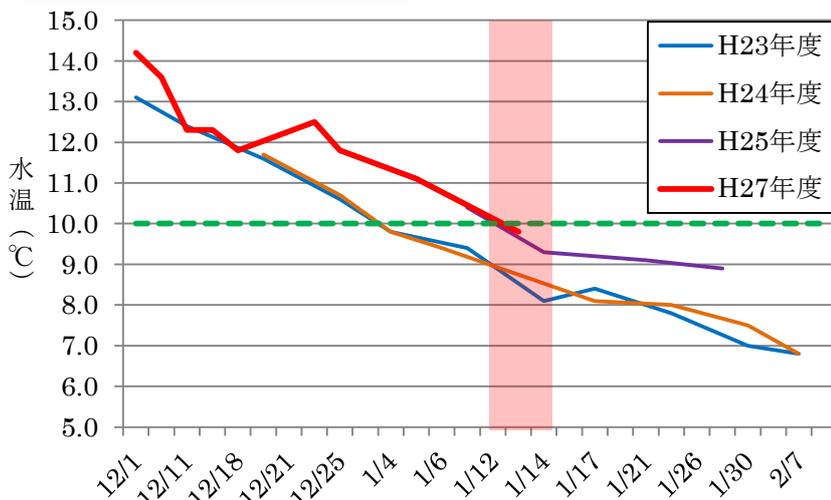
調査点	表面水温 (°C)	ネット曳網距離 (m)	胚(孵化前)・浮遊幼生数(個)			(備考欄)
			胚(孵化前)	浮遊幼生	合計	
1 谷川	9.8	20	42	129	171	その他ホヤ幼生74
2 鮫浦	9.9	15	84	123	207	その他ホヤ幼生39
3 前網	10.4	15	34	290	324	その他ホヤ幼生46

※プランクトンネットは鉛直曳き2回

◆ホヤ浮遊幼生出現数推移



◆谷川における水温の推移



① 調査風景（ネット曳網中）



② 調査風景（サンプル採取）



③ 調査風景（サンプル採取）

